Ⅰ．市の概要

１．朝倉市の概要

【位置と地勢】

平成 18 年 3 月 20 日、甘木市・朝倉町・杷木町の 1 市 2 町の合併により誕生した朝倉市は、福岡県のほぼ中央部に位置し、福岡市の南東、久留米市の北東、大分県日田市の西に所在します。市域は、東西約 25ｋｍ、南北約 15ｋｍ、総面積 246.71ｋ㎡で、市内には大分自動車道「甘木」「朝倉」「杷木」の 3 つのインターチェンジがあり、市の中心部から福岡市までは 30ｋｍ以内の都市圏内にあります。また、西鉄電車、西鉄バス、甘木鉄道など交通アクセスも多彩です。

北部から東北部にかけて古処山、馬見山など、800m 級の山々が連なり、豊富な動植物が棲息する自然環境に恵まれています。南部では筑後川やその水系の赤谷川、白木谷川、北川、荷原川、桂川、佐田川、小石原川などの河川が流れ、これらの河川によって潤される平野部は、肥沃な水田地帯を形成しています。また小石原川には江川ダム、小石原川ダム、佐田川には寺内ダムがあり、福岡都市圏の水がめとなっています。

【歴史】

筑後川流域の平野部は、高い生産力によって古くから栄え、一部には卑弥呼が統治した邪馬台国をこの地域とする説も唱えられるなど、弥生時代以降の遺跡が数多く存在しています。弥生時代の環濠集落である国指定史跡平塚川添遺跡(甘木地区)や、杷木神籠石(杷木地区)をはじめ、有名な遺跡も多く発見されています。また、斉明天皇の朝倉橘広庭宮にまつわる伝説とゆかりの地(朝倉地区)も多く、南淋寺(朝倉地区)や普門院(杷木地区)などの多くの古社、古刹も存在しています。

中世には、秋月氏がこの地を支配し、江戸時代には黒田氏の福岡藩と支藩の秋月藩とに分かれて統治されました。城下町として栄えた秋月(甘木地区)は、現在重要伝統的建造物群保存地区として歴史的町並みが保存され、多くの観光客に親しまれています。また、筑後川流域では、山田堰堀川用水と三連水車(朝倉地区)が築かれ、筑後川の鵜飼(杷木地区)など特徴ある文化が生まれています。伝統工芸としては、秋月和紙・甘木絞り(甘木地区)、武者幟・竹工芸(杷木地区)などがあります。また、安長寺バタバタ市(甘木地区)や全国でも数少ない奇祭といわれる阿蘇神社泥打ち祭り(杷木地区)など多くの伝統行事やまつりが受け継がれています。

行政区域は明治 5 年の廃藩置県や明治 22 年の町村制施行、昭和の合併などを経て、1 市 2 町の行政区域となりましたが、平成 18 年 3 月 20 日合併し、旧甘木市役所を本庁舎、旧 2 町役場を地域行政センターとして朝倉市が誕生しました。

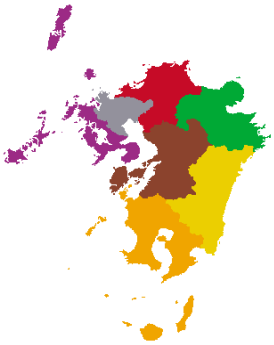
【旧市町の沿革】

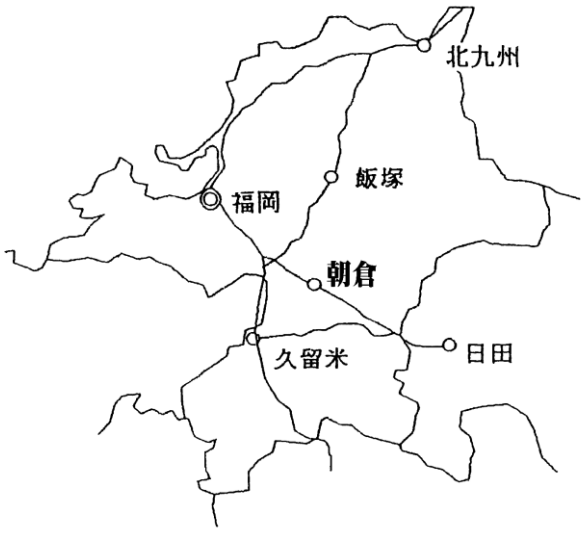
○　甘木市　昭和 29 年に甘木町、秋月町、上秋月村、安川村、馬田村、立石村、福田村、蜷城村、金川村、三奈木村が合併し市制施行。昭和 30 年に高木村を編入。

○　朝倉町　昭和 30 年に朝倉村、宮野村、大福村(大庭村・福成村が明治 42 年合併)が合併して朝倉村、昭和 37 年町制施行。

○　杷木町　昭和 26 年に杷木町、松末村、久喜宮村、志波村が合併。

２．本市位置図




北九州
飯塚
福岡
朝倉
久留米
日田

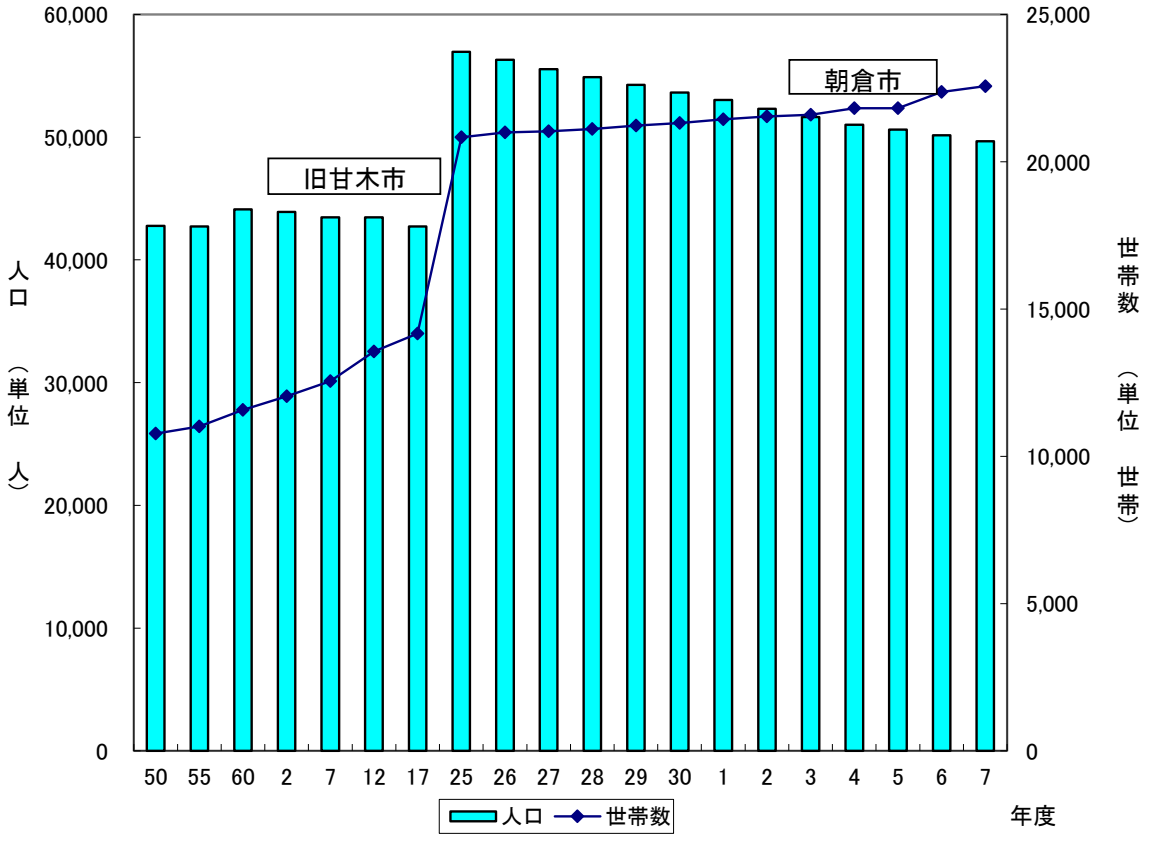

筑紫野市
嘉麻市
旧夜須町
筑前町
旧甘木市
東峰村
旧小石原村
旧宝珠山村
旧三輪町
朝倉市
三井郡
旧朝倉町
旧杷木町
久留米市
うきは市

３．人口・世帯数の推移

（単位：人、世帯、人／㎢、世帯／㎢）

区分／年度	人口			世帯数	人口密度	世帯密度
	男	女	計			
昭和50年度	20,273	22,493	42,766	10,769	255.8	64.4
昭和55年度	20,381	22,341	42,722	11,017	255.5	65.9
昭和60年度	21,005	23,108	44,113	11,572	263.8	69.2
平成 2年度	20,752	23,151	43,903	12,035	262.6	72.0
平成 7年度	20,622	22,836	43,458	12,547	259.9	75.0
平成12年度	20,653	22,825	43,478	13,560	260.1	81.1
平成17年度	20,242	22,489	42,731	14,169	255.6	84.7
平成25年度	26,817	30,148	56,965	20,830	230.9	84.4
平成26年度	26,521	29,775	56,296	20,996	228.2	85.1
平成27年度	26,186	29,357	55,543	21,037	225.1	85.3
平成28年度	25,891	28,999	54,890	21,115	222.5	85.6
平成29年度	25,566	28,703	54,269	21,225	220.0	86.0
平成30年度	25,313	28,318	53,631	21,317	217.4	86.4
令和元年度	25,040	27,990	53,030	21,443	214.9	86.9
令和２年度	24,691	27,612	52,303	21,535	212.0	87.3
令和３年度	24,385	27,258	51,643	21,599	209.3	87.5
令和４年度	24,124	26,895	51,019	21,817	206.8	88.4
令和５年度	23,997	26,627	50,624	22,046	205.2	89.4
令和６年度	23,814	26,339	50,153	22,364	203.3	90.6
令和７年度	23,598	26,069	49,667	22,566	201.3	91.5

（注1）平成７年度までは９月末日現在、平成１２年度以降は８月末日現在の住民基本台帳による。
（注2）平成１７年度までは旧甘木市、平成２５年度以降は朝倉市で表示。
（注3）平成２５年８月末から、外国人住民・世帯を含めて集計。



４．事務分掌と職員数

イ．事務分掌　　令和７年４月１日現在

課	係	事　務　分　掌
税務課	住民税係	１．個人の市民税の申告及び賦課に関すること。 ２．法人の市民税の申告及び賦課に関すること。 ３．市たばこ税の申告及び賦課に関すること。 ４．入湯税の申告及び賦課に関すること。 ５．軽自動車税の申告及び賦課に関すること。 ６．口座振替に関すること。 ７．税の過誤納金の還付及び充当に関すること。
	資産税係	１．土地、家屋及び償却資産の評価に関すること。 ２．固定資産税の賦課に関すること。 ３．国有資産等所在市町村交付金及び納付金の賦課、調定に関すること。
収納対策課	管理収納係	１．税の収納及び徴収に関すること。 ２．税の督促並びに催告に関すること。 ３．税の滞納処分並びに不納欠損処分に関すること。 ４．納税相談に関すること。
	特別債権整理係	１．税外債権の滞納処分に関すること。 ２．税外債権の管理対策に関すること。 ３．税外徴収金の調査に関すること。
保険年金課	国民健康保険係	１．国民健康保険の資格に関すること。 ２．国民健康保険の給付に関すること。 ３．国民健康保険税の賦課に関すること。 ４．国民健康保険事業に関すること。 ５．国民健康保険運営協議会に関すること。

ロ．職員数

課	課長	区分／係	係長	参事補佐	主任主査	主査	主事	計
税務課	1	住民税係	1	1	3	9	1	15
		資産税係	1	－	2	6	1	10
収納対策課	1 （兼任）	管理収納係	1	－	1	4	－	6
		特別債権整理係	1	－	－	－	－	1
保険年金課	1	国民健康保険係	1	1	－	6	－	8
		国民年金係	1	－	1	1	－	3
		後期高齢者医療係	1	－	－	3	－	4
		公費医療係	1	－	－	2	－	3
合計　52 名						※（ ）は内数		

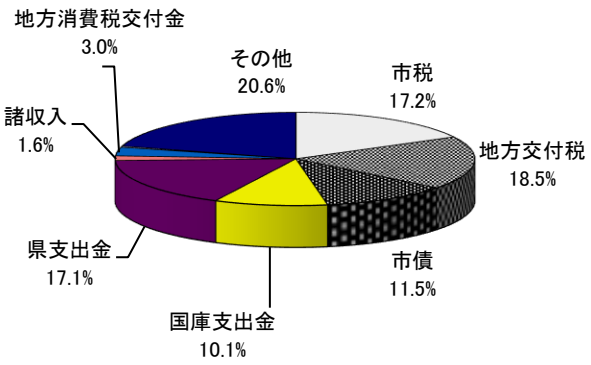
５．令和７年度一般会計当初予算の状況

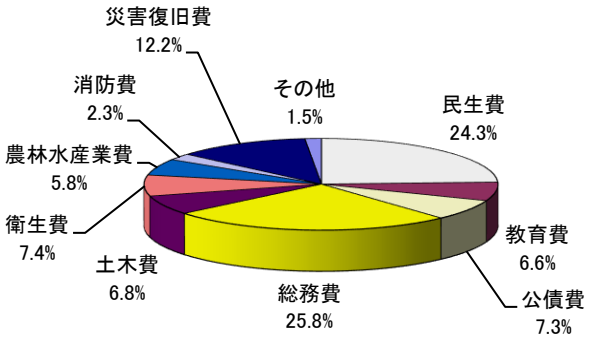
（単位：千円、％）

歳入		
科目	当初予算額	構成比
市税	7,541,301	17.2
地方譲与税	342,000	0.8
利子割交付金	4,000	0.0
地方消費税交付金	1,325,000	3.0
環境性能割交付金	67,000	0.2
地方交付税	8,100,000	18.5
分担金及び負担金	158,061	0.4
使用料及び手数料	401,273	0.9
国庫支出金	4,406,628	10.1
県支出金	7,476,161	17.1
繰入金	5,823,550	13.3
諸収入	709,557	1.6
市債	5,011,300	11.5
その他	2,404,169	5.4
歳入合計	**43,770,000**	**100.0**

（単位：千円、％）

歳出		
科目	当初予算額	構成比
議会費	201,441	0.5
総務費	11,270,301	25.8
民生費	10,614,431	24.3
衛生費	3,225,384	7.4
労働費	34,585	0.1
農林水産業費	2,561,821	5.8
商工費	351,305	0.8
土木費	2,964,586	6.8
消防費	1,025,569	2.3
教育費	2,911,280	6.6
災害復旧費	5,341,797	12.2
公債費	3,217,500	7.3
予備費	50,000	0.1
歳出合計	**43,770,000**	**100.0**





６．市税等収入額の状況（一般会計）

（単位：千円）

	市　　税	地方交付税	国庫支出金	市　　債	そ の 他	合　　計
令和2年度	7, 402, 627	8, 865, 859	12, 449, 317	3, 875, 424	13, 655, 322	46, 248, 549
令和3年度	6, 958, 701	8, 466, 929	7, 956, 228	3, 741, 534	15, 290, 765	42, 414, 157
令和4年度	7, 249, 708	8, 220, 786	5, 909, 485	2, 325, 487	14, 947, 408	38, 652, 874
令和5年度	7, 467, 581	9, 050, 713	5, 248, 677	5, 397, 528	14, 550, 700	41, 715, 199
令和6年度	7, 351, 438	8, 815, 226	6, 074, 983	5, 512, 722	14, 887, 476	42, 641, 845

資料：歳入歳出決算書より

